

Osaka Prefecture Pushing Old People to Brink of Suicide over Its No-Pet Policy



Residents forced to move from old houses into new apartment block cannot take their pets with them.

In Meguri-cho, Hirakata city, old houses are being torn down and residents forced to move into new Prefectural housing blocks. Some residents have lived there for 30 years. About one third keep pets. The Prefecture has told them to find new homes for their pets or consult with the hokensho, i.e. have them destroyed. Many of the pets as well as their owners are elderly. Several have declared they will commit suicide rather than be forced to part with the pet they consider as their child.

The Prefecture is insensitive to the feelings of these people and their right to happiness. Pets are essential to the mental and physical well-being of elderly people. Forcing them to destroy the pet they love will lead to depression, illness and an earlier death. In addition, when these pets are abandoned and end up strays, the Prefecture will have to expend a lot of time and tax payers' money trying to catch and exterminate them.

ARK visited the Housing and General Affairs Department at Osaka Prefectural Office and delivered a petition (see below) asking the Prefecture to reconsider its decision. The Prefectural answer is "NO Comment."

Total number of houses scheduled for demolition 950. First stage: 235 households have to move out by beginning of next month (November).

大阪府のいう動物飼育とは？

大阪府のノー・ペット政策

高齢者を自殺へと追いやる気でしょうか

大阪府営住宅での現状

大阪のある府営住宅の住民が、同じく府営の新しいマンション型高層住宅への入居を府側から要請されていますが、これまで生活を共にしてきたペットたちをその新住居に連れては入居できないと通告されました。

枚方市の三栗町では、目下旧府営住宅が取り壊されており、その住民たちは新しい府営住宅へ入居することを余儀なくされています。その住民たちの何人かはこの旧府営住宅に30年以上も住んでいました。そのうち三分の一の人がペットと共に生活しています。その人たちに、大阪府はその新府営住宅入居の際にペットを他の人に飼ってもらうか、保健所に相談するように通告しました。これはとりもなおさずそのペットたちをそこで殺処分させることを意味しています。その飼い主たちと同じようにこのペットたちもかなりの高齢です。飼い主の何人かは、自分の子供だと考えていっしょに暮らしてきたペットたちと別れなければいけないくらいならば、自殺するとまで言い切っています。

大阪府はこの人たちの切実な気持ちと幸せに暮らす権利にあまりに無神経では無いでしょうか。ペットの存在は、精神的、肉体的な面で、高齢者が充実した生活を送っていくうえで決して欠かすことができません。その人たちに対しペットの殺処分を強要することにより、このひとたちが極度に落胆したり病気になったり死を早めたりする事態が生じてくることでしょう。さらには、仮にかれらのペットたちが捨てられ周辺をうろつくようになると、大阪府は多大の時間と府民の税金をこのペットの捕獲と殺処分に費やせねばならなくなるでしょう。

アークでは、大阪府建築部住宅管理課および大阪府秘書課を訪れ要望書を提出し、府に対しこの決定の撤回を要請しました。そして府側の回答は、「この件に関してはコメントできない」というものです。わたしたち同様にこの件に憤りをおぼえ、大阪府に善処を求めようとする方は、上記の所轄の課に抗議の手紙を送付して下さい。

(送付先は) 〒540 大阪市中央区大手前二丁目

大阪府建築部 住宅管理課 指導部係 宛

解体予定旧府営住宅の総戸数は950世帯で、さしあたっては230家庭が11月の上旬までに転出を余儀なくされたのです。

